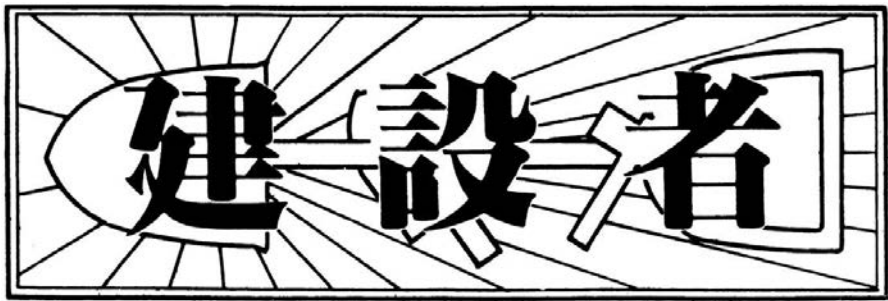


今月の葛飾組織現勢

2025年4月1日	4,046人
加 入	56人
転 入	2人
脱 退	80人
転 出	1人
2025年5月1日現在	4,023人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 関 根 伸 正

組織・産対運動を重点

4月13日(日) 第72回葛飾支部定期大会をテクノプラザかつしかで114人の参加で開催しました。

当日は、議長には日高常任執行委員と深津分会長(水元)が務め、支部定期大会を進行。



選任された支部役員のみなさん

第72回葛飾支部定期大会に114人

があり、執行部としての回答。当日も本田立石分会の代議員から財政調整基金と予算組み、分会活動費の減額についての意見・質問がありました。

昼食をはさみ午後からは分科会を開催。15時から専門部ごとに会場を分かれて行われた分科会での討議内容について、各分科会で選出された議長から報告。その後、表彰式、そして役員改選となりました。

役員改選における立候補者は代議員参加者による承認を受け、新執行委員長にはたつみ分会の井岡進さんが就任しました。また、新たに副執行委員長に小川眞也さん(本田立石)、日高清さん(中央)が就任となりました。

新役員の承認後、新体制となった役員全員が前に並び、井岡新委員長からあいさつがありました。その後、5年間執行委員長を務めた及川光太郎さん、副執行委員長を務めた土屋忍さん、常任執行委員を務めた益子栄治さん、近沢敏彦さん退任の紹介と花束贈呈が行われました。

【支部重点課題】

- ・分会再編協議の継続と役員体制の確立
- ・組織実増に向けた拡大運動
- ・公契約条例の更なる運動の推進
- ・自然災害に対応するNAMAZU組織の構築
- ・まちづくりセンターの充実

新年度役員

選出されたみなさん

第72回支部定期大会で選任された役員は次の通りです。支部執行委員長は、本部中央執行委員となります。

- ◆執行委員長 井岡 進 石工・たつみ
- ◆副執行委員長 阿久津大造 塗装・奥戸
- ◆小川 眞也 電気・本田立石
- ◆日高 清 建築金物・中央
- ◆書記長 山屋 英 書記局
- ◆書記次長 深谷 隆行 書記局
- ◆沼 美幸 書記局
- ◆小藤 隆之 書記局
- ◆四役待遇(本部常任中央執行委員)
- ◆後継者対策部長 阿久津大造 (兼)
- ◆教育宣伝部長 関根 伸正 電気・北水元
- ◆財政部長 日高 清 (兼)
- ◆PAL会長 日高 清 (兼)
- ◆学習制度化合員委員長 関根 伸正 (兼)
- ◆女性の会担当役員 井岡 進 (兼)
- ◆常任執行委員待遇 柳澤 豊 (青年部長)
- ◆加々美聖子(女性の会会長)
- ◆会計監査 上村 光輝 建員・たつみ
- ◆細貝 文洋 ハウスクリーニング・堀切
- ◆執行委員 南條 公太(たつみ)
- ◆南條 実(たつみ)
- ◆石塚 克久(奥戸)
- ◆小泉 昭二(奥戸)
- ◆佐藤 崇(本田立石)
- ◆富田美智子(本田立石)
- ◆岩佐 勉(青戸)
- ◆石井 秀嗣(中央)
- ◆青木 克介(中央)
- ◆高橋 昌義(堀切)
- ◆簡井 豊(亀有)
- ◆中田 哲也(亀有)
- ◆小野瀬祐次(細田高砂)
- ◆新田 智和(細田高砂)
- ◆安藤 正樹(柴又)
- ◆市瀬 隆(柴又)
- ◆遠山 毅(新金町)
- ◆宮沢 和広(新金町)
- ◆金城 千鶴(北水元)
- ◆田中 満(北水元)
- ◆松山 文洋(幸田)
- ◆伊藤 兼夫(幸田)
- ◆深津 優気(水元)
- ◆井上 成典(水元)
- ◆執行委員待遇 加藤 信男(建長会会長)

新委員長に井岡進さん(たつみ)

参加しやすい組合をめざしたい

このたび、葛飾支部の執行委員長を務めさせていただくことになりました。たつみ分

会の井岡進です。前任の委員長より10才ほど若返り、まだまだ未熟なところも多く、日々勉強の毎日です。

組合の人材・後継者不足、そして時代に合った集金の方など、少しずつでも新しい風を取り入れて、みんなにとって参加しやすい組合を目指

さん

支部定期大会を開催し、葛飾支部の新年度がスタートした。井岡新執行委員長が率いる

新執行部による1年の始まりである。重点課題の組織・産対含め様々なことに取り組み、4000人の組合員をひたつていくことになる。今後の活躍に期待したいところだ。そして、5年の長きにわたり委員長を務め、葛飾支部をひたつてきた及川光太郎さんはこの大会で退任となった。改めて感謝申し上げたい。コロナ禍での就任で思っような組合活動ができず、それでもできることをその行動力で模範として実践してきた功績はみな記憶として残っているであろう。

いつのまにか冬から春、そして夏に向かう季節になった。いまだに高騰が続く米の価格をはじめ、様々なものの高騰でその対策を求められる中、トランプ大統領による相互関税(24%)が私たちの生活に暗い影を落としている。世界ではロシアのウクライナ

侵攻やガザ侵攻、今回のアメリカの一方的ともいえる関税対策。強いものの行動・主張が通ってしまう世界なのである。私たちが労働組合の存在意義にもかかわってくる大きな問題である。東京土建は個々の力の団結を大きな力として、これまで私たちの処遇改善をはじめ様々な運動に取り組んできた。私たちの声をより大きくするためにこの春の拡大月間で新しい仲間を増やし、大きな力としよう。



井岡委員長

第1分科会 組織・後継者・青年部

若手組合員訪問が力ギ



第1分科会報告
左から石井さん・井上さん

【議長＝井上成典（水元）
・石井秀嗣（中央） 書記＝
山屋英（書記）】代議員17名

特別代議員1名の総勢18名で行いました。

組織部の議案提案後の質疑応答では、各分会から組合員訪問時にレクや健診、行事などの案内を伝えながら対象者をみつける、若い人を訪問し役員登用に結び付けたい、達成めざし頑張っていきたいなどの発言がありました。

住宅デー開催については、企画をたくさん用意して仲間の出番を作り、若手の組合員の役員につながついているといった意見がありました。

後継者対策部の議案提案では50代より下の組合員の協力体制について各分会からは、若い人は声をかけても出てこないが、レクには若い組合員も出てくるという意見、イベントへの参加が続けば役員になる可能性もあるといった意見、50代の役員が多く飲み仲間などのつながりで役員を広がっているといった意見、役員になつてくれそうな組合員向けの若手交流会を開催していきたいなど各分会から報告がありました。

その後、青年部の議案提案があり、最後に全員の議案承認を受け分科会を終了しました。

第2分科会 厚生文化・教宣・女性の会 自転車保険・観劇会の利用を



第2分科会報告
左から伊藤さん・吉村さん

【議長＝吉村孝（本田立石）
・伊藤兼夫（幸田） 書記＝
石井世惟也・小藤隆之（書記）】代議員20名、特別代議員3名の総勢23名で行いました。

厚生文化部の議案提案後の質疑では、新年度のウォーキング大会の開催への質問、賠償保険の実質掛金の引上げについて、生命共済給付金の金額の今後についての質問がありました。また、執行部より自転車保険の加入促進についての提案、劇団四季の「ライオンキング」の観劇会の提案がありました。

休養をはさんで、教育宣伝部の議案提案にうつりました。最初に分会新聞の表彰を行ったあと、議案提案がされました。質疑では本部発行の郵送されるけんせつ紙の減紙申請についての発言や、新加入者説明会の開催について複数回開催の提案発言もありました。執行部からも新加入者説明会の継続することの必要性の訴えがありました。

その後女性の会の報告提案が加々美会長よりありました。今年、年間53人の会員目

第3分科会 仕事・技術

住宅デーと仕事確保



第3分科会報告
加藤さん

【議長＝永井則夫（たつみ）
・加藤俊一（水元） 書記＝
深谷隆行・高橋司（書記）】代議員9名、特別代議員1名、来賓1名の総勢11名で行いました。

はじめに益子仕事対策部長、後藤本部常任執行委員よりあいさつ、参加者全員から自己紹介を行い、部長より昨年度の運動の経過を発表、事務局より資料集を使い、報告の補強。各参加者から分会の報告および、質問・要望がありました。

住宅デーの食品の取り扱いで保健所の指導を緩くしてもならないのか。

・住宅デーは100人に来場してくれているが、仕事確保につながついていない。仕事確保につながる対策をしてもらいたい。

・住宅デーはやっているが、何を推しているのか。組合の認知もあるのか。

・NAMAZUもジャッキアップや消火器を使った体験をしたが、今年は体験型見学を行ってもらいたい。

・NAMAZUは、消防団や町会等で参加している人も可能なのか。

その質問に対して、本部後藤常任より、住宅デーは他支部でも議員や区長も訪問してくれる。対区交渉含め認知度は大いにある。リフォーム市

場では、アンケートで修繕予算は平均300万ある。まちづくりセンターでは高齢者がほとんどなので少額だが、子育て世代に向けて地元の業者であるとアピールできると説明回答。

執行部より、仕事確保につながる対策を次回の住宅デー実行委員会ですべて案を出し合えるよう開催し、NAMAZUの体験型見学は予定に入れていると回答。NAMAZU隊員の災害時の活動も地域兼任でも参加できる範囲で構わない。家族や自分の安全を確保した後に参加してもらえれば、兼任でもよいところは持ち帰ってもらって参考になるものは教えてもらえれば、より良くなれると回答。最後に参加者の承認を拍手で確認。

第5分科会 労働対策

アスベスト企業訴訟の勝利を



第5分科会報告
細貝さん

【議長＝細貝文洋（堀切）
書記＝松沢慶子（書記）】代議員13名、総勢13名で行いました。

出席者の自己紹介を行い、部長より経過報告、方針提案がありました。経過では、建設アスベスト訴訟の到達と残された建材メーカーの補償に向けたたたかいが報告されました。また、建設業におけるアスベスト労災認定件数と寛飾支部での申請数と決定数が報告され、最高裁判決の成果である裁判せず補償金が受け取れる給付金法での申請数の報告、決定数は12月末までで35件となっている報告。さらに、労災事故発生件数の報告と安全パトロールも複数回実施された報告がありました。

労災加入状況では、一人親方の平均日額6199円に対して、特別加入者は7759円となっているとの報告がありました。

情勢では、厚労省が初めて化学物質関連の労災発生件数を公表し、建設業では全発生件数のうち15%を上めています。また、2026年1月1

日以降の着工から建物以外の工作設置物に対する解体時の事前調査も有資格者によることが義務化されるとの報告がありました。

方針提案では、建設アスベスト建材企業訴訟勝利、和解に向けた闘い、アスベスト労災認定への取り組み、労働安全衛生対策として現場訪問、安全パトロール、石綿関連法の周知徹底等が提案されました。

質疑では、石綿関連法の周知徹底の項で「設備のみの改修でもスレートに穴開けたりするので、資格を持つていないと何もできなくなってしまう」という意見に対して、執行部より「作業者は資格を取る必要がある。現場に入る前に、看板を立てて事前調査していることを周知しないといけない。アスベストの除去費用、廃棄費用は高く、お客さんに請求しにくい場面もあるのは確かにある。事前に調査する費用も高い。そのため、お客さん、住民に理解を求めているかないといけない」との回答がありました。これに対して、「個人で仕事をしている、一人親方で仕事をしている」との意見も出ました。また、「労災を招く化学物質には、どのようなものがあるか」との質問に対し、執行部より「亜鉛、亜塩素酸ナトリウム、アクリル酸、アセトン、アンモニア等」との回答がありました。

議案終了後は安全対策のDVDを視聴し、最後に議案は全員の拍手をもって承認を得て分科会を終了しました。



退任役員のみなさん
左から近沢敏彦さん・益子栄治さん
・土屋忍さん・及川光太郎さん

組合員さんご家族関係者の皆様こんにちは。前年度まで葛飾支部で委員長をさせていただいた細田高砂分会の及川です。

皆様を支えてもらい5年間支部の委員長として組合活動に参加させていただきました。住宅デー、活動者会議、各イベント等を通して、多くの方々と会話、行動ができました。

私が就任した一年目には新型コロナウイルスが発生し、組合活動がいろいろと制限が

され、思うような組合活動ができませんでした。のちに様々な助成金制度があり、面倒な手続きを書記さん達の手を借りて申請と需給ができたこと、組合に入っていてよかったなと思いました。その後、働き方改革、インボイス導入など様々な問題点がありますが、組合員さん、書記さんと一緒に少しずつ解決していきたいと思います。組合員としてこれからも頑張りたいと思います。

その後、林部長より税金対策議案について昨年の運動の経過と今年度の運動の重点について提案がありました。あわせて部長より、今年の運動には大チャンスがある。参議

25年4月に小学校・中学校に入学をしたお子さんをお持ちの組合員さん、『新入学祝金』の申請忘れにご注意ください。

申請で、5000円の図

新年度の入学祝 新入学祝金申請忘れずに

書カードがもらえます。詳細は事務所までお問い合わせください。



最初に参加者の自己紹介をしました。次に井岡部長より議案の提案があり、書記より資料の説明がありました。その後各参加者から、意見や質問がありました。

参加者より、「剰余金」について今まで書かれていただけで、余ったのなら、黒字という認識だった。支部の収支が赤字だと説明されて、わかりやすくなってきたという意見がありました。また、本部の「前納制」から「当月制」への納入方法の変更について、どう考えているのか質問があり、それに対し、「当月制」となった場合、現行制度での滞納脱退では、1か月分は確実に支部負担が発生する。制度や本部規約の改定などの必要があると思うとの回答がありました。

次に分会の財政について、意見を求め、「集金した組合費・保険料を集金後、すぐに分会口座へ入金するようになり負担が減った」との報告をはじめ、群会議での集金、分会への送金について報告がありました。また、現金での集金に不安があること、群会計のなり手が少ないことから、キャッシュレス導入には意欲的な意見が出ました。キャッシュレス導入による群役員体制の見直しの必要性についても意見が出ました。

他にも紙の資料の削減とスマホアプリのLINEの活用、財政調整基金を繰入しない予算案を作るなど、貴重な意見がだされました。

最後に拍手をもって議案が仮承認されました。

第4分科会 賃金・建長会

取り組みやすい賃金アンケート項目に



第4分科会報告
平賀さん

【議長＝平賀三郎（堀切） 書記＝森淑彦（書記）】代議員11名、特別代議員3名の総勢14名で行いました。

自己紹介をしてから賃金対策部の議案提案に移りました。提案後、質疑応答へ。参加者から「賃金調査のアンケート項目について、間違った集約になっている。釘や交通費が入っている金額を人工代にしている」「請求書もすっかり内訳を書かないと一緒の金額にされてしまう」「賃金アンケートの設問がわかりに

くい」「動員費について物価が上がっている中で、金額を上げられないか」「非組合員だけ動員に行ってくれる奥さんの金額も上げてほしい」「若い人にはもっとお金を出さないと出てくれない」などの意見がでました。

その後、建長会の総会報告が加藤会長よりありました。報告に対して、レクの決め方への質問があり、会議で決めている回答がありました。また、行事に関連して、記念行事の花やしきについて、行きたくても行けなかった人に記念品が欲しかったという意見や、レク全般で制限があると参加できないなどの意見がありました。

最後に全体の拍手をもって承認し、閉会となりました。



第6分科会報告
左から益子さん・徳光さん

【議長＝徳光孝（本田立石） 書記＝益子仁志（堀切） 書記＝小野晶康・山澤康平（書記）】代議員15名、特別代議員2名、

第6分科会 社会保障・税金

補助金獲得に向けた運動が重要

総勢17名で行いました。

最初に各出席者の自己紹介。その後、糸賀部長より社会保障対策の昨年の経過報告及び議案提案がありました。議案提案を受け、国保料がこのまま増加してしまうと、料金面での優位性がなくなり、組合員がほかの保険に移行してしまう懸念があること、働き方による保険料ではなく、収入による保険料の方が適切ではないかと意見がありました。補助金獲得については、ハガキ要請と健診受診率の向上が、組合員にとって重要であると訴えがありました。ハガキ要請については中間目標を設定することで、達成率が向上したこと、各分会にさらなる協力をお願いしました。健診受診率向上のため、チラシ作成を行って訴えを行ったかどうかと意見がありました。最後に「健康教室」に対して意見交換を行いました。病気に対して予防だけの話ではなく、そうならどうなるという踏み込んだ話も聞き取ったことと意見がありました。これらをもって社会保障対策部についての分科会を終了しました。

その後、林部長より税金対策議案について昨年の運動の経過と今年度の運動の重点について提案がありました。あわせて部長より、今年の運動には大チャンスがある。参議

第7分科会 財政

群会議開催方法で議論



第7分科会報告
杉浦さん

院、都議会、区長、区議会と4回も選挙がある。インボイス廃止、消費税減税へと考えている会派、議員がいる。そうした議員を選ぶことができる」と報告がありました。

また、堀切の代議員から、インボイスで取る取らないで取引先から手を引くといった問題提起もありました。奥戸の代議員からは、運動はしているが結果報告がなく、どんな方向で行っているかと質問がありました。この質問に対して、部長より、本部税対報告が一部の支部で白紙で出されていて問題である。全建総連大会の中で埼玉土建や千葉土建が議員に向けてアンケートを送って回答を出している」と報告がありました。

以上のことも含め今後の運動の課題として討議していくと確認し、全体の確認をし、承認され、分科会を終了しました。

【議長＝杉浦美希（水元） 書記＝沼美幸（書記）】代議員14名、総勢14名で行いま

春の拡大月間 成果表

	2025年 1月 1日付	2025年 5月 1日付	1月比 増減	春 拡大 目標	春 拡大 加入数	春の拡大 成果表 4月30日現在																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
たつみ	490	481	−9	18	6	●	●	●	●	●	●													増減▼9
奥戸	376	378	2	14	8	●	●	●	●	●	●	●	●											増減○2
本田 立石	298	295	−3	11	3	●	●	●																増減▼3
青戸	142	139	−3	5	1	●																		増減▼3
中央	356	344	−12	13	5	●	●	●	●	●														増減▼12
堀切	253	249	−4	9	2	●	●																	増減▼4
亀有	377	374	−3	14	5	●	●	●	●	●														増減▼3
細田 高砂	363	362	−1	13	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									増減▼1
柴又	166	161	−5	6	3	●	●	●																増減▼5
新金町	284	280	−4	10	3	●	●	●																増減▼4
北水元	179	182	3	7	4	●	●	●	●															増減○3
幸田	254	250	−4	9	2	●	●																	増減▼4
水元	371	356	−15	13	6	●	●	●	●	●	●													増減▼15
その他	167	172	5	6	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●										増減○5
合計	4076	4023	−53	148	66	4月66人 5月 人 合計=66人																		

1月1日付人員比 マイナス53人



役員学習会&出陣式に105人が参加

教宣部主催の分会5役学習会では、新執行委員長に就任した井岡進さん（たつみ）のあいさつ。その後、関根教宣部長より、組合員の分会帰属意識を高めるための所属の組合員の分会活動への参加を促すチラシおよび、新加入者説明会について説明。その後、本部の木村書記次長から『東京土建国保の状況と社会保障拡充の取り組み』と題した、土建国保をめぐる情勢、財政状況、国保料と今後の運

動について報告。続いて、加入・共済・国保についての実務学習をしました。

その後、春の拡大出陣式に移行。阿久津新組織部長（奥戸）より、この春の拡大月間スローガンが読み上げられ、月間の意義、行動重点など提案があり、春の拡大月間がスタートしました。その後、13の分会、青年部・女性の会・建長会から壇上で拡大スローガンの読み上げ、目標達成に向けての決意表明がありまし

4月17日（木）19時よりシンフォニービルズ別館のレインボーホールで、分会5役学習会および、春の拡大月間出陣式を開催しました。参加者は、支部役員、各分会役員および、青年部・女性の会・建長会、書記局あわせ105人でした。



阿久津組織部長

分会5役学習会&春の拡大出陣式
制度を知り、春の拡大に活かす



集団健診

【社保対担当 小野書記】
2025年4月20日にテクノプラザかつしかで支部集団健診を実施しました。年度初め

今年度最初の集団健診を実施

の健診には116名の仲間の受診がありました。健診と同時実施した特定保健指導の面談者は11名でした。

受診率をあげよう

健診の受診率は補助金獲得に大きな影響を与えます。国保組合の財政状況は大変厳しい状態にあります。医療費の増加を抑えるためにも、自身の健康状態を把握し、適切に



亀有駅周辺を行進

駅に集まる多くの方々に対して訴えをしました。

閉会挨拶の後、亀有駅を中心にパレードを行い、その後解散となりました。

【統一行動日】
第4次…5月14・15日
第5次…5月21・22日
第6次…5月28・29日

をあげる方もおり、歌に乗せてテーマに対して声をあげる方もおり、マに各々が声を上げました。

憲法の集い
とめよう戦争

【石井書記】4月20日（日）13時より、亀有リリオパークにて、「葛飾憲法の集い」が行われ、葛飾支部からは27名が参加しました。

オープニングは音楽隊「トッケビ プンムル」の音楽から始まり、主催者挨拶、ゲストスピーカー並びに各団体からリレートーク形式で、「戦後80年とめよう戦争」をテーマに各々が声を上げました。



会場いっぱいの来場者

葛飾区子どもまつり
完成品を手に笑顔

参加し、工作教室を展開しました。当日の葛飾支部の指導員としての参加者は61人。工作教室のメニューは、本立て・プランター・銅板表札・自由工作の4種類。

10時の開会と同時に多くの親子連れが東京土建ブースに会場し、作りたい作品を選び、親子で工作開始。指導員と一緒にノコギリ・金づちを使って作り上げた本立て・プランターは表面に焦げ目をつけ、ニスを塗って完成。銅板表札は、根気強くたたいて完成。完成した作品を手に子供の笑顔があふれる会場となりました。

公式LINE登録しよう



新加入者説明会
制度を知ろう

新しく加入した組合員向けの新加入者説明会を開催します。東京土建に加入して何が利用できるのか。ぜひ参加をしてください。

日時…6月5日（木）19時
対象…1〜6月に加入した組合員のみ
会場…葛飾支部会館